

第10 産業経済

第10 産 業 経 済

本県経済は、新型コロナウイルス感染症の拡大により、飲食・サービス・観光など、対人サービスに関連する産業から製造業に至るまで、あらゆる産業分野において深刻な影響を受けており、特に、中小・小規模事業者は厳しい経営を強いられている。

産業経済部では、商工団体や金融機関等と連携し、制度融資による資金繰り支援、休業要請や営業時間短縮要請に応じた事業者に対する支援金や協力金の支給、「感染症対策県内企業ワンストップセンター」における相談対応など、県内企業の事業継続に向けた支援に注力するとともに、県民を対象に宿泊料金の割引を行う「愛郷ぐんまプロジェクト」により、県内の観光需要を喚起した。

また、「ストップコロナ！対策認定制度」の創設や、「ものづくり企業オンライン展示場（GUNMA VIRTUAL EXPO）」の開設等により、ウィズコロナ時代に適応した、本県産業のニューノーマル実現に向けた各種施策を実施した。

さらに、本県の新たな魅力を創造・発信するため、今後、成長が期待されるeスポーツなどの新コンテンツの育成、Gメッセ群馬を活用したコンベンション産業の振興等にも取り組んだ。

【主要施策】

- 1 新型コロナウイルス感染症の影響を受けた事業者等への支援
 - ・ 商工団体・金融機関等と連携した伴走型による支援
 - ・ 実質無利子・無担保融資による資金繰り支援
 - ・ 休業要請や営業時間短縮要請に応じた事業者への支援金や協力金の支給
 - ・ 県民を対象にした宿泊料金の割引による県内の観光需要喚起

- 2 本県産業のニューノーマル実現に向けた支援
 - ・ 「ストップコロナ！対策認定制度」の創設やニューノーマル創出支援の実施
 - ・ ものづくり企業オンライン展示場や地場産品商談サイトによる販路開拓支援
 - ・ 感染症対策や新しい生活様式に対応した新製品等の開発・マーケティングの支援

- 3 新たな魅力の創造・発信
 - ・ デジタル技術を活用した海外セールスプロモーション
 - ・ U19eスポーツ選手権の開催
 - ・ 各種イベント等の主催者への誘致活動

1 産業政策費

(1) 社会参加費

決算額 26千円

職員が地域社会に積極的に参加することにより、県民の声を聞き県政に反映するとともに、県政の方針や事業等について県民の理解と協力を求めるため、各種団体との会合に伴う会費等を支出した。

所 属 数	金 額
産 業 経 済 部 2 課 2 所	26千円

(2) 産業政策企画推進

決算額 12,898千円

① 産業情報収集・産業振興基本計画策定・サポートガイド作成

ア 経済産業省等の発表資料や、県内中小企業・関係団体に関わる情報を収集、分析し、県内経済の状況を把握したほか、県内中小企業の経営実態や将来の見通し等を把握するため、経済団体(中小企業団体中央会、商工会議所連合会、商工会連合会)等と協力して、アンケート調査を実施した。

イ 本県における産業振興の方向性を明確にし、更なる経済発展を図るため、産業経済分野における最上位計画となる「群馬県産業振興基本計画」を策定した。

ウ 県や国等の中小企業支援施策、制度を網羅した「企業サポートガイド」を作成した。

② 湯けむりフォーラム

最先端の議論を発信する「場」として、湯けむりフォーラムを立ち上げ、県庁動画・放送スタジオtsulunos(ツルノス)を起点に、オンラインで多様なカンファレンス・エンターテインメントを発信し、イノベーションの芽を育てた。

区 分	事業実績
オンライnセッション動画	24本
テキストレポート	10
その他企画(フォトコンテスト等)	3

(注) オンラインセッション動画の総再生回数は6万回(令和3年6月30日現在)

(3) 感染症対策産業経済支援

決算額 8,429,094千円

① 緊急事態措置に伴う事業継続支援金

県の「緊急事態措置」に基づく休業要請・協力依頼等に応じた事業者に対し、事業継続支援金を支給した。

申請期間：令和2年5月13日～6月15日

対象者：対象施設の休業又は営業時間の短縮を行った県内中小企業等

区 分	支給件数	支給金額
感染症対策事業継続支援金	9,715件	1,943,000千円

② 営業時間短縮要請に伴う協力金等

新型コロナウイルス感染症対策のため県の営業時間短縮要請に協力した飲食店等に協力金を支給するとともに、当該飲食店等と直接取引などがある事業者へ支援金を支給した。

ア 営業時間短縮要請協力金

区分	要請期間	申請期間	対象地域
第1弾	令和2年12月15日～12月28日	令和3年1月14日～2月15日	7市町
第2弾	令和2年12月22日～12月28日		
第3弾	令和2年12月29日～令和3年1月11日	令和3年1月28日～2月24日	7
第4弾	令和3年1月12日～1月25日	令和3年2月4日～3月1日	9
第5弾	令和3年1月26日～2月8日	令和3年2月18日～3月10日	9
第6弾	令和3年2月9日～2月22日	令和3年3月4日～3月25日	9
第7弾	令和3年2月23日～3月1日	令和3年3月18日～4月8日	2

(令和3年3月31日現在)

区 分	支給決定件数	支給金額
営業時間短縮要請協力金	11,575件	4,859,280千円

イ 飲食関連事業者等事業継続支援金

申請期間：令和3年3月18日～4月28日

対 象 者：時短要請に協力した飲食店等と直接取引などがある事業者（県内に事業所を有する中小企業者等）

(令和3年3月31日現在)

区 分	申請件数
飲食関連事業者等事業継続支援金	97件

(注) 飲食関連事業者等事業継続支援金の支給は令和3年度から開始。

③ 県内企業ワンストップセンター設置

新型コロナウイルス感染症に起因する課題に対応するため、「感染症対策県内企業ワンストップセンター」を設置し、各支援制度に関する問合せや収入補償の要望など、県内企業からの相談に対応した。

(令和3年3月31日現在)

区 分	相談件数
感染症対策県内企業ワンストップセンター	13,124件

④ 物資供給管理システム構築

新たな生活様式への対応が求められる中、品質の高いマスクを地産地消により安定的に供給するプロジェクト「群馬県マスク地産地消推進プロジェクト」を実施。物資供給管理システムの開発と民間事業者のノウハウを活用した仕組みを構築し、県産マスクの普及を図った。

(令和2年8月～令和3年3月)

区 分	協力企業数	総販売枚数	事業費
群馬県マスク地産地消推進プロジェクト	4社	254万枚	90,299千円

(4) 未来投資促進

決算額 299,480千円

本社機能や試験研究施設の移転、県内企業の投資拡大を促進するため、東京圏、大阪圏での営業、企業誘致推進補助金や地域未来投資促進法等の優遇措置の活用など、積極的な誘致活動を展開した。その結果、令和2年工場立地動向調査において、立地件数（52件）で全国第4位、立地面積（51.6ha）で同第6位の実績に繋がった。

区 分	事業費
情報発信資料の作成配布（PR動画、企業立地ガイド等）	798千円
企業誘致専門員の配置（東京）	2,434
企業誘致推進補助金の活用（交付件数：12件）	294,397
企業誘致担当職員等（東京、大阪）の活動経費	224

(5) 計量検定所 決算額 26,804千円

計量法に基づき、特定計量器の検定及び検査等を実施するとともに、特定計量器を製造又は使用する事業者に対する立入検査を行い、正確な計量器の供給と適正な計量の確保を図った。

区 分	検定・検査数
検定（タクシメーター、燃料油メーター、血圧計等）	14,498個
検査（基準器検査、計量証明検査等）	354
立入検査（燃料油メーター、商品量目、届出・登録事業者等）	98戸
「指定定期検査機関」による定期検査	3,532個

2 経営支援費

(1) 貸金業対策 決算額 887千円

貸金業法に基づき、資金需要者等の利益の保護を図るため、貸金業者の登録及び立入検査並びに苦情相談の処理を行った。

登録処理数 (うち更新登録)	登録業者数(令和2年度末)	立入検査件数	苦情相談処理件数
2件(1件)	10業者	3件	9件

(2) 新型コロナウイルス感染症対策関連制度融資基金積立 決算額 6,300,000千円

新型コロナウイルス感染症の拡大の影響を受けた事業者の経営の安定化を図ることを目的とした制度融資の運営に要する経費（信用保証料補助及び利子補給）の財源に充てるため、新型コロナウイルス感染症対策関連制度融資基金を造成し、6,300,000千円の積立てを行った。

(3) 中心市街地・商業活性化推進 決算額 1,832千円

① 商店街活性化支援

商店街の活性化を図るために商店街団体等が行うハード事業に対し、市町村を經由して助成を行い、商店街の活性化に寄与した。

・商店街活性化支援（ハード事業）

市町村名	事業主体	事業費	補助額	事業内容
桐生市	桐生市本町六丁目商店街振興組合	3,047千円	750千円	アーケード吊り下げ看板改修（本体改修、照明設備の省電力化）

② 買い物弱者対策

買い物弱者支援に取り組む企業や団体、関心を持つ関係者等を交え、幅広い関係者の情報交換や連携促進を図るため、「買い物弱者支援に係る情報交換会」を開催した。

区 分	参加人数
買い物弱者支援に係る情報交換会 内 容：企業（セブン-イレブン・ジャパン）との情報交換会 テーマ：セブン-イレブン・ジャパンの取り組みについて 期 日：令和3年3月5日 場 所：web開催（Zoom）	19人

③ 官民連携によるリノベーションまちづくりの推進

官民連携によるリノベーションまちづくりを推進するため、機運醸成のための講演会を実施した。

区 分	参加人数
ぐんまりノベーションまちづくりセミナー 期 日：令和3年2月25日 場 所：県庁32階「NETSUGEN」及びweb動画配信 講 師：市来 広一郎氏（(株)machimori代表取締役） 後藤 大夢氏（(株)LIFULL） 川村 徳佐氏（UNIT KIRYU(株)代表取締役）	30人

④ 商店街振興組合指導事業

県商店街振興組合連合会が商店街振興組合に対して実施する、組合運営に関する指導、各種研修事業を支援した。

事業主体	事業費	補助額	事業内容
群馬県商店街振興組合連合会	184千円	184千円	指導事業、近代化講習、商店街青年部・女性部研修会

(4) 大型店対策

決算額

378千円

① 県大規模小売店舗立地審議会運営

大規模小売店舗の立地に際し、その周辺地域の生活環境を保持する観点から、「群馬県大規模小売店舗立地審議会」を開催し、大規模小売店舗立地法の趣旨に則って、公平で適正な審査を実施した。

- ・大規模小売店舗立地法に基づく審査

区 分	届出件数
新 設 案 件	15件
変 更 案 件（増床等）	61
計	76

- ・群馬県大規模小売店舗立地審議会 令和2年度開催回数 4回
- ・群馬県大規模小売店舗立地審議会現地調査 令和2年度実施回数 6回

② 大規模小売店舗立地法に係る届出事務処理・指導

「大規模小売店舗の地域貢献ガイドライン」に基づき、大規模小売店舗が行う様々な地域貢献活動に係る実施状況報告書等の県への報告を求めており、県ホームページで公開している。

・提出状況 (令和3年3月31日現在)

区 分	店 舗 数
地域貢献ガイドライン計画書	63店舗
地域貢献ガイドライン報告書(計画書提出から3年以内に提出)	47

※対象店舗(店舗面積6,000㎡超の大規模小売店舗)は71店舗

(5) サービス産業振興・物流機能強化推進 決算額 6,187千円

① 物流機能強化推進

県トラック協会との共催による物流セミナーをtsulunosから動画配信した。

区 分
物流セミナー 「物流危機が問いかけるもの」 講 師：首藤 若菜氏(立教大学経済学部教授) 期 間：令和2年11月16日～令和3年2月28日

② 外食産業におけるインバウンド需要回復

事業者が新型コロナウイルス感染症収束後、速やかにインバウンド需要を回復させるため、業態転換等を図る店舗改装の取組を支援した。

事業主体	事業費	補助額	事業内容
株式会社旬	13,566千円	6,166千円	東京オリンピックでのインバウンド客獲得を見据えた業態転換のための店舗改修

(6) ニューノーマル創出支援 決算額 71,856千円

① ストップコロナ!対策認定制度

消費者からの信頼性の確保や消費喚起による地域経済の活性化を図るため、各業界団体等が作成した感染症対策ガイドライン等に基づき、感染症対策を適切に行っている店舗を「ストップコロナ!対策認定店」として認定した。

区 分	件 数	事業費
ストップコロナ!対策認定店	5,388件	32,637千円

② ニューノーマル創出支援事業費補助

「ストップコロナ!対策認定制度」の認定を取得した中小・小規模事業者が、3事業者以上集まって新たに取り組むビジネスプランを募集し、応募のあった提案に対して、審査会を実施した上で、新型コロナ時代に対応する新しいビジネスのモデル的な取組を選定し、実施を支援した。

区 分	件 数	補助額
ニューノーマル創出支援事業	31件	26,010千円

③ 飲食・サービス業における感染症対策実証実験

大学等の専門機関と連携し、店舗の空間形状、空調・換気扇の流量等によるCO₂分布等から店舗内の感染リスクをシミュレーションし、感染リスク度の評価を行うとともに、レイアウトの改善・人密度の最適化等の安全性の高い改善を行う実証実験を実施した。

区 分	店舗数	事業費
飲食・サービス業における感染症対策実証実験	20店舗	12,999千円

(7) 経営力強化支援

決算額 168,233千円

- ① 経済環境の変化に対応して、新事業や新分野進出などに取り組み、経営の向上を目指す中小企業を支援するため、中小企業等経営強化法に基づく「経営革新計画」の承認を行った。計画の承認を受けた企業では、制度融資等支援措置の活用による設備投資、新たな事業活動による受注拡大のほか、社外（金融機関、取引先）からの評価の向上、社内におけるモチベーションの向上等の成果が上がっている。

区 分	件 数
経営革新計画の承認	93件

- ② 東京海上日動火災保険(株)との協定に基づき、県内企業のBCP（事業継続計画）策定支援や新型コロナウイルスに対応したBCP策定ワークショップ等を行ったほか、中小企業の経営力強化支援の一環として各種セミナーを開催した。

区 分	参加人数
BCP（事業継続計画）セミナー	138人
基礎セミナー	
新型コロナウイルスBCP策定講座	
策定ワークショップ（計4回）	
実践セミナー	22

- ③ 中小企業の中核的支援機関である（公財）群馬県産業支援機構の運営費を助成し、中小企業経営力強化、地域経済の活性化を図った。

事 業 名	補 助 額
（公財）群馬県産業支援機構運営費補助	114,534千円
（公財）群馬県産業支援機構事業助成	19,363

・令和2年度事業実績（主な事業）

区 分	内 容
経営支援	経営総合相談窓口運営（相談2,116件）、専門家派遣（8社、31回）、よろず支援拠点（相談11,424件）、事業引継ぎ支援センター（相談245件、成約22件）、創業支援（相談457件）、プロフェッショナル人材戦略拠点（相談261件、成約48件）、中小企業再生支援協議会（相談166件、再生計画策定実績145件）
取引開拓支援	下請取引あっせん（紹介250件、成立25件）、広域商談会（受注商談159件）・個別商談会（商談67件）の開催、展示会出展支援（1回、13社）、下請取引適正化事業（相談202件）
ものづくり技術・産学連携支援	群馬ものづくり現場新人研修（3回、39人）、IoT・AI等普及促進支援（相談165社）、戦略的基盤技術高度化支援（3件）

- ④ プロフェッショナル人材戦略拠点

ア 潜在的成長力の高い中堅・中小企業を中心に、新商品開発、新規販路開拓をはじめとした新たなチャレンジを積極的に促し、その実現に不可欠となるプロフェッショナル人材の採用をサポートするため、群馬県産業支援機構に「群馬県プロフェッショナル人材戦略拠点」を設置し、相談対応やマッチング支援を行った。

区 分	件 数
相 談 件 数	261件
人材紹介会社への取次件数	227
マッチング成約件数	48

イ 中小企業向けのセミナーを開催し、事業の周知及び攻めの経営を促すための啓発を行った。

区 分	参加人数
中小企業のデジタル化に関するセミナー	69アカウント

- ⑤ 新型コロナウイルス感染症により経営に影響を受けている県内事業者を対象に、資金繰りや雇用・労働、経営等に係る相談会を県内11か所で開催し、経営課題等の解決を支援した。

区 分	相談事業者数	相談件数
新型コロナウイルス感染症対策出張相談会	101事業者	165件

(8) 創業・事業承継支援

決算額 61,404千円

- ① 創業前後の相談に対する専門マネージャーによるワンストップでの相談支援等を実施するとともに、創業者のビジネスプランに対して事業化の支援を実施した。

区 分	事業内容	事業費
創業支援センター運営	創業支援センター運営（創業専門マネージャー1名） ・相談件数 457件 ・専門家派遣 1件、2日	3,443千円
ぐんま創業者支援塾	支援を希望する創業者を公募し、講座を開催するとともに、専門家派遣やマッチングなどの支援を実施した。 ・支援創業者 7人	

- ② 創業者創出ミーティングを開催し、学生や女性の創業機運醸成を図った。

区 分	事業内容	事業費
創業者創出ミーティングの開催	学生や女性が創業者と交流する場として「創業者創出ミーティング」を開催した。 ・伊勢崎興陽高校（参加者203名） ・大泉高校（参加者37名） ・前橋清陵高校（参加者18名） ・西邑楽高校（参加者220名） ・尾瀬高校（参加者114名） ・高崎商業高校（参加者275名） ・女性創業者創出ミーティング（動画配信申込者27名）	179千円

- ③ 地域課題の解決に向け新たに起業する者に対して起業支援金の交付と、起業後のフォローアップにより、創業から事業の安定化に向けた支援を実施した。

区 分	事業内容	事業費
地方創生起業支援	地域課題の解決に向けて新たに起業した者を対象に起業支援金の交付と、起業後の伴走支援を実施。 ・起業支援金31名、48,142千円	55,454千円

- ④ 県内中小企業の経営者に事業承継準備に係る「気づき」の機会を提供するとともに、個別課題の整理に向けた専門家派遣を実施した。

区 分	事 業 内 容	事 業 費
事業承継支援	支援機関（商工団体、金融機関、税理士会等）の協力を得て、県内中小企業の経営者に事業承継診断を実施するとともに、個別課題の整理に係る専門家派遣を行った。 ・事業承継診断実施件数7,480件 ・専門家派遣 21件	1,870千円

(9) スタートアップ支援 決算額 1,000千円

スタートアップの創出を促進するため、関係機関とコンソーシアムを設立した。

区 分	事 業 内 容	事 業 費
スタートアップ・エコシステム形成	大学や研究機関の科学技術の事業化を支援し、スタートアップの創出を促進するため、投資家、事業への共感者（協力者）を獲得することを目的とした連携協定の締結とコンソーシアムを設立した。 ・構成団体（支援側4者、研究機関3者）	1,000千円

(10) 中小企業連携組織対策 決算額 127,637千円

群馬県中小企業団体中央会に人件費（指導員16人、職員4人）を補助し、中小企業の組織化及び事業協同組合等への指導（実地指導1,048件、窓口指導2,531件）を行うとともに、同会が行う研修会、実務講習会、機関誌の発行等への補助を行い、同会会員の人材育成や経営力強化などを支援した。

事 業 名	事 業 内 容	補 助 額
群馬県中小企業連携組織対策事業費補助金	群馬県中小企業団体中央会を通じて、中小企業の連携組織対策の推進及び既存組合の育成指導等を実施した。	127,637千円

(11) 小規模事業対策 決算額 1,645,777千円

① 小規模事業経営支援事業費補助

商工会・商工会議所が行う経営改善普及事業等及び商工会連合会が行う商工会指導事業等に助成し、小規模事業者の振興と経営の安定を図った。

主な事業活動の内容は、次のとおり。

- ・金融、税務、経理、販売管理、労務、技術の改善その他経営に関する指導等
 - ・小規模事業者の経営の改善発達に資する地域の活性化又は商工業の振興に関する事業の実施、協力、指導
 - ・経営、技術、各種制度等に関する情報、資料の収集及び提供
- 令和2年度における主な事業実績等は以下のとおり。

・ 補助対象職員設置数 (令和2年4月1日現在)

区 分	団体数	経営指導員	経営支援員 (旧補助員)	経営支援員 (旧記帳専任職員)	事務局長
商 工 会	43団体	91人	49人	27人	30人
商工会議所	10	70	22		3
商工会連合会	1	15	5		
計	54	176	76	27	33

・ 指導実績

区 分	指 導 件 数		
	巡回指導	窓口指導	創業指導
商 工 会	31,358件	39,537件	245件
商工会議所	13,422	20,622	285
商工会連合会	994	970	26
計	45,774	61,129	556

・ 補助額

区 分	補 助 額
商 工 会	972,359千円
商 工 会 議 所	486,600
商 工 会 連 合 会	174,021
計	1,632,980

② 小規模事業者エキスパートバンク事業費補助

商工会議所及び商工会連合会が小規模事業者及び創業を予定する者に専門家を派遣し、指導助言等を行うことにより、経営改善を図る経費の支援を実施した。

事 業 名	補 助 額
小規模事業者エキスパートバンク事業費補助	6,497千円

③ 商工会議所連合会補助

群馬県商工会議所連合会が行う各種研修会等の商工業者振興事業等及び各商工会議所が行う広報活動事業等に助成し、商工会議所連合会及び各商工会議所の健全な育成と振興を図った。

事 業 名	補 助 額
群馬県商工会議所連合会補助	6,300千円

④ 中小企業サポーターズ制度

県内の金融機関と、中小企業支援機関との連携による企業支援制度「群馬県中小企業サポーターズ制度」を運営し、きめ細かな中小企業の経営支援を展開することにより、県内中小企業の経営力のさらなる向上を図った。

区 分	発行回数
県中小企業サポーターズメールマガジン	43回

(12) 被災中小企業支援 決算額 248,220千円

令和元年10月に発生した台風第19号により、被害を受けた県内中小企業者に対して、事業再建に必要な機械設備の購入費等を補助することで、いち早い復旧を図り、令和2年度に事業が完了した。

事業名	件数	補助額
令和元年台風19号被災中小企業支援	33件	248,220千円

3 地域企業支援費

(1) 中小企業技術振興対策

決算額 168,886千円

- ① 中小企業の独創的な新技術・新製品開発に対して補助を行うことにより、技術力向上の支援を行った。

区分	事業者数	対象事業費	補助金額
ぐんま新技術・新製品開発推進補助	40社	160,914千円	64,170千円
先端ものづくり産業推進型	8	121,109	52,485
市町村・県パートナーシップ支援型	32	39,805	11,685
ニューノーマル創出支援「新製品・サービス戦略的展開支援補助」	12	19,756	8,622

- ② ものづくり企業を対象にした展示商談会「群馬ものづくりフェア」を企画するとともに、常設オンライン展示場「GUNMA VIRTUAL EXPO」を新たに開設し、リアルとバーチャルのハイブリットで販路拡大・ビジネスマッチングを支援した。

区分	事業内容	事業費
群馬ものづくりフェア2021	<新型コロナウイルス感染症拡大を受けて開催直前で中止> 日程：令和3年1月14日、15日 場所：Gメッセ群馬	9,637千円
オンライン展示場「GUNMA VIRTUAL EXPO」	開設日：令和3年1月29日 掲載企業数：349社	73,115

- ③ 県内中小企業の航空宇宙産業への参入支援を行った。

区分	事業内容	事業費
航空宇宙産業参入支援	<p>専門家による参入セミナー、認証取得に係る技術指導、国内外展示商談会の出展支援等を実施</p> <ul style="list-style-type: none"> 「エンジンフォーラム神戸2020」出展支援 期間：令和2年10月20日～21日 場所：神戸国際展示場3号館（兵庫県） 出展企業：3社1団体（商談数57件） 「フライングカーテクノロジー」出展支援 期間：令和2年11月4日～6日 場所：東京ビッグサイト南4ホール（東京都） 出展企業：3社1団体（商談数195件） 「航空宇宙機器開発展」出展支援 期間：令和3年2月3日～5日 場所：幕張メッセ（千葉県） 緊急事態宣言の発令に伴い、出展支援を中止 内部監査員養成研修 開催期間：令和3年2月17日～18日 参加人数：8名 	7,519千円

区 分	事 業 内 容	事 業 費
(航空宇宙産業参入支援)	・参入支援セミナー 開催日時：令和3年2月19日 方 法：オンライン 参加人数：34名	

(2)次世代モビリティ産業参入支援 決算額 9,377千円

- ① 次世代自動車関連技術への県内企業の参入を支援するため、コーディネーターによる県内外企業訪問及びオープンイノベーションの推進を実施した。

区 分	事 業 内 容	事業費
サンデン・リテールシステム（株） オープンイノベーション	期 日：令和3年1月21日 参加者：23名 期 日：令和3年2月26日 参加者：6名	6,381千円

- ② E V化を見据えた関連技術の知識や技術の理解を促進し、ハードウェアとソフトウェアの両方の知識を有するエンジニアを育成する講座を実施した。

区 分	事 業 内 容	事業費
最 新 動 向 セ ミ ナ ー	期 日：令和2年9月8日 参加者：114名 期 日：令和2年12月11日 参加者：49名	2,996千円
人 材 育 成 講 座	期 日：令和2年9月～10月（全9回） 参加者：延べ247名	

(3)医療産業振興 決算額 9,382千円

- ① 群馬がん治療技術総合特区で掲げるプロジェクトを推進したほか、医療機器の開発や異業種からの新規参入を支援した。
- ② 医療機器産業への参入を目指す企業に対し、市場動向や法規制、参入事例等を体系的に習得できるセミナー等を実施した。

区 分	事 業 内 容	事業費
医療機器ビジネス 参入セミナー	期 日：令和2年10月27日（基礎知識編） 参加者：20名 期 日：令和2年11月10日（参入事例紹介編） 参加者：28名	125千円

- ③ 県内ものづくり企業の医療機器産業への参入促進・販路拡大のため、県外医療機器メーカーとのマッチングを実施した。

区 分	事 業 内 容	事業費
医療機器等メーカーとのオンライン商談会	期 日：令和3年2月24日～3月10日 方 法：オンライン 参加企業：19社 商談件数：29件	997千円

- ④ 医療機器等開発を進める企業に対し、ニーズに基づく製品開発手法習得のため、セミナーとワークショップを実施。また、専門コンサルタントによる助言や展示会等への出展費用を補助し、事業化を支援した。

区 分	事業内容	事業費
バイオデザインに学ぶ ～ニーズに基づく製品開発～	【オンラインセミナー】 日 時：令和2年12月4日 参加者：29名 【ワークショップ】 日 時：令和3年3月1日 参加者：11名	1,320千円
医療機器開発等コンサルティング	支援企業1社	36
ぐんま医療・福祉関連展示会等出展支援補助	支援企業1社	268

(4) 海外ビジネス展開支援

決算額 11,415千円

- ① 事業者の海外展開に関する具体的な課題解決のため、ジェトロや金融機関等の支援機関と連携して事業を実施した。

区 分	事業内容
ジェトロ群馬貿易情報センターとの連携	・相談件数：521件 ・セミナー、商談会：20回 (うち県との共催事業8回) ・ハンズオン支援：16社
農林中央金庫との連携	・沖縄大交易会2020出展 方 法：オンライン 出展企業：4社 商談件数：21件(成約4件、 不成立7件、継続交渉10件)

- ② 輸出に関する基礎知識の習得から実践となる商談会参加までを一貫して体験する、パッケージ型の支援を行った。

区 分	事業内容	事業費
グローバルビジネス実践塾	参加企業：26社(加工食品・雑貨事業者) セミナー・ワークショップ：4回(6月～10月) 国内商社との商談会(1月26日)： 参加企業47社、商談件数104件 東京国際ギフトショー・FOODEX JAPAN： 新型コロナウイルス感染症の影響で出展中止	1,422千円

(5) 受発注振興対策

決算額 10,689千円

下請取引の受発注のあっせん、経営及び技術指導、情報提供等の事業を行う群馬県産業支援機構への補助を通じ、下請中小企業の経営の安定化を図った。

また、中小企業の受注機会拡大のための商談会開催や見本市等への出展支援を通じて、販路開拓や新たな取引先との交流機会を創出した。

区 分		事 業 内 容	事 業 費
下請中小企業 取引情報提供 等事業費補助	下請あっせん	あっせん件数：250件 成約件数：25	10,689千円
	関東5県 ビジネス マッチング 商談会	期 日：令和2年11月2日～30日 方 法：参加企業ガイドブック配 布による個別対応方式 参加企業：46社 商談件数：159件	
	彩の国 ビジネス アリーナ	期 間：令和3年1月8日～2月8日 方 法：オンライン 参加企業：13社	
	個別マッチ ング	参加企業：35社 商談件数：63件	

(6) 地場産業総合振興対策

決算額 25,291千円

- ① 本県繊維産業産地の活性化を図るため、「産地組合」や「企業グループ」が行う事業に対して補助を行った。

区 分	事業者数	事 業 内 容	補助金額
繊維産業産地活性化推進補助	2団体	産地組合等が行う本県繊維製品の販路開拓、地域ブランド確立及び人材育成等に対する支援	7,032千円

- ② コロナ禍における新たな販路開拓の手段として、県内の地場産業企業（食品、繊維、伝統工芸品等）と全国のバイヤーを結ぶ商談のプラットフォームサイトを構築した。

区 分	事 業 内 容	事業費
地場産品商談サイト「いっぴん！ぐんま」	開設日：令和3年3月15日 サイト登録企業数：105社	5,355千円

- ③ 付加価値の高い加工食品の企画開発から販路開拓まで、産学官の連携体制で伴走支援を実施した。

区 分	事 業 内 容	事業費
“ぐんまの食” オンライン商談会 事前セミナー	期 日：令和2年10月6日 参加者：26人	7,613千円
味覚センサー活用セミナー	期 日：令和2年11月25日 参加者：33人	
“ぐんまの食” オンライン商談会	期 日：令和2年11月12日～13日 参加企業：25社 商談件数：68件	

- ④ 地域資源を活用した中小企業者の販路開拓等、群馬県産業支援機構が行う取組を支援した。

区 分	事 業 内 容	事業費
オンライン商談対策セミナー	期 日：令和3年2月18日 参加者：24人	1,310千円

区 分	事業内容	事業費
ぐんま食の“逸品”オンライン商談会	期 日：令和3年3月2日～4日 参加企業：37社 商談件数：146件	

- ⑤ クリエイティブな発想を持つデザイナーと連携して、県内ものづくり事業者の付加価値の高い商品開発を支援するとともに、開発した商品や参加事業者を紹介するホームページを制作した。

区 分	事業内容	事業費
Fashionable Gunma 商品プロデュース	参加事業者：9社 参加デザイナー：6	2,800千円

- ⑥ 企業と学生とのデザインマッチングを開催し、若者の感性を取り入れた県内企業によるものづくりを支援した。

区 分	事業内容	事業費
デザインマッチング	実施企業：3社 参加教育機関：3校（県内）	161千円

- ⑦ 「ぐんまの地酒」の魅力を、これからお酒を飲み始める若い世代に伝えるため、県内の大学生と酒蔵の連携による動画コンテストを開催した。

区 分	事業内容	事業費
ぐんまの地酒PR動画コンテスト	参加者：6大学11グループ、酒蔵11社	144千円

(7) 産業技術センター 決算額 914,237千円

- ① 県内企業の新製品開発や製品の付加価値の向上に対する支援をより一層充実させるため、試験機器等を整備した。

区 分	機 器 名	事業費
産業技術センター整備	材料試験システム	39,479千円
	蛍光X線分析装置	29,700
	高感度炭素硫黄分析装置	17,798

- ② 中小企業が必要とする技術情報の提供を行うとともに、技術者の研究開発能力の向上、技術課題の解決を図るための人材育成に関する研修等を開催した。

区 分	事業内容
技術情報の提供	産業技術センター技術情報「まる得通信」配信：54,783件 ホームページによる情報提供（アクセス数：102,113件）
中小企業技術研修	受託研修（4課程）受講者：51人

- ③ 企業からの依頼による受託研究、企業とセンターとの共同研究を実施し、企業の技術開発力の向上を支援した。また、国等からの外部資金を積極的に導入し、実用的な研究開発に取り組んだ。

区 分	実施件数	研究経費
公募型共同研究	9件	28,000千円
受託研究	95	78,369
次世代産業創出研究	1	1,000
試験・分析高度化研究	8	5,933
国等の競争的資金を活用した研究	10	6,635

以上の実用化を前提とする開発研究に取り組んだ結果、14件の特許出願（県と企業等との共同出願）を行った。

- ④ 技術開発に関する企業からの相談や分析・試験・加工等の依頼試験に応じるとともに、センターが保有する計測機器等を開放し、県内企業の製品開発力、技術力の向上を支援した。

区 分	件 数
技 術 相 談	19,475件
依 頼 試 験	29,388
機 器 開 放	1,731

(8) 繊維工業試験場

決算額 230,621千円

- ① 県内繊維関連企業の製品品質管理や製品開発を支援し、県内繊維製品の高付加価値化、抗菌・抗ウイルス化を図るため、機器整備、環境整備工事を実施した。

区 分	整 備 内 容	事 業 費
繊維工業試験場整備 (地方創生拠点整備交付金事業)	・化学試験室整備	8,800千円
	・空間除電システム	11,770
	・糸繰り巻き取りワインダー	3,388
繊維工業試験場整備 (地方創生推進交付金事業)	・環境試験室整備	6,600
	・ナノファイバー紡糸装置	14,047
繊維工業試験場整備 (地方創生臨時交付金事業)	・抗ウイルス性試験関連整備	7,392

- ② 中小企業が必要とする技術情報をホームページ・情報誌等で提供するとともに、研究発表会・講師派遣・講演会等を行った。また、中小企業の人材育成のための研修を行った。

区 分	事 業 内 容
技術情報の提供	ホームページによる情報提供（アクセス数：5,271件） 「せんい技術情報」等の発行（延べ18回）
研究発表等	研究発表：6回、講師派遣：9回、講演会等：5回
人材育成	専門技術研修（2課程） 受講者：計13人

- ③ 企業と県で研究経費を負担し合う公募型共同研究、企業からの依頼による受託研究、国等の外部資金を活用した外部資金研究及び企業、大学等との共同研究を行い、企業の技術開発力の向上を支援した。

区 分	件 数	研究経費
公 募 型 共 同 研 究	4件	2,000千円
受 託 研 究	8	3,605
外 部 資 金 研 究	8	7,155

- ④ 企業のニーズに応じて、繊維製品に関する物理試験・化学試験をはじめ分析、加工、分解などの依頼試験等を行い、繊維業界の製品開発力・技術力の向上を図った。また、企業の抱える様々な技術問題に対応するため技術相談を行った。

区 分	件 数
依 頼 試 験 等	3,783件
技 術 相 談	4,118

4 観光魅力創出費

(1) インバウンド誘客促進

決算額 123,970千円

① 観光情報収集・発信

英語版観光情報サイトをリニューアルしたほか、多言語に対応しているホームページ、SNSの運用により、海外に向けて本県の観光情報を発信した。

区 分	対応言語
ホームページ	英語・中国語（簡体字・繁体字）・韓国語・タイ語
facebookページ	英語・中国語（繁体字）・韓国語・タイ語
インスタグラム	英語

② 広域連携誘客促進

北関東三県や群馬・埼玉・新潟三県連携、北陸新幹線沿線地域との広域連携等により、海外の有力メディアを活用したオンライン事業等を実施した。

区 分	実施内容
北関東三県広域観光推進協議会	台湾人気YouTube番組を活用した観光PR
群馬・埼玉・新潟三県相互観光推進	シンガポール等英語圏ドライブルートPR
北陸新幹線沿線地域広域連携	web広告、オンライン商談会等
埼玉県連携台湾訪日教育旅行	オンライン意見交換会等
関東観光広域連携事業推進協議会	web広告、連携サイト制作等

③ 海外セールスプロモーション

欧米豪や台湾等を主なターゲットとして、海外メディアを活用したオンライン記事広告の配信や在日ライター招請事業等を実施した。

区 分	実施内容
欧米向けオンライン情報発信	Lonely Planetウェブ版記事掲載
豪州スノー関連メディア広告掲載	スノー関連オンラインメディア広告掲載
台湾メディアプロモーション	台湾旅行情報サイト記事掲載、SNS広告
在日外国人向け情報発信等	ウェブ記事掲載、SNS広告、アンケート

④ 受入環境整備

「Gunma Excellence施設登録制度」の運用や、登録施設及びパートナー施設向けに県産食材を使ったヴィーガンメニュー開発のためのオンライン研修会を開催した。

また、情報発信・口コミ活用、接客英語、食の多様性などの勉強会動画を制作・配信したほか、英語サイト整備支援や口コミ活用等オンライン個別相談を実施した。

区分	新規登録施設	登録施設計
Gunma Excellence施設	10施設	47施設
パートナー施設	35	154

⑤ 海外情報翻訳発信

観光情報の収集・翻訳・発信等を行う会計年度任用職員を雇用し、facebookページ、ホームページや各種プロモーション資料等、多言語での本県観光情報発信を行った。

(2) 観光宣伝

決算額 181,894千円

本県の観光イメージアップと観光客の増加を図るため、県内の観光資源をPRするぐんま観光マップの作成・配布を行った。

また、スタンプラリーとクーポン機能を付した周遊観光パスポート事業の実施による県内周遊観光の促進や、山と歴史のぐんま観光事業による稜線トレイルとその周辺

の観光情報を掲載したガイドブックの作成、県内のキャンプ場情報を集約したホームページの開設等に取り組んだ。

① 観光宣伝資料作成

区 分	作成部数	事業費
ぐんま観光マップ	190,000部	4,598千円

② 観光宣伝推進

区 分	事業内容	事業費
周遊観光パスポート	スタンプラリーとクーポン機能を付した「心にググっとぐんまちゃんパスポート」を発行	19,416千円
山と歴史のぐんま観光	稜線トレイルとその周辺の観光情報を掲載したガイドブックの作成や、県内のキャンプ場情報を集約したホームページの開設など	14,999
国内広域連携	栃木、茨城の北関東3県、埼玉・新潟県の3県、北関東磐越5県の連携により、観光PRなどの誘客促進	4,460
ふっこう割	令和元年台風第15号及び第19号により落ち込んだ旅行需要の早期回復を図るため、宿泊料金等の割引事業を実施	127,655

(3) 千客万来支援

決算額 39,560千円

ワンランク上の観光地を実現するため、市町村等が取り組む企画力の優れた観光振興事業に対し重点的に支援した。

- ・補助率1/2以内（ハード事業のみ財政力指数0.75以上の市町村に対しては1/3以内）

※交付先の（ ）内は事業件数

事業(補助メニュー)	件数	補助金額	交付先
受入環境整備推進	4件	1,970千円	渋川市、上野村、昭和村、みどり市
ビジタートイレ推進	6	12,920	前橋市、安中市、藤岡市(2)、富岡市、館林市
地域資源活用推進	10	8,490	渋川市、渋川伊香保温泉観光協会、上野村産業情報センター、下仁田町、四万温泉協会、嬭恋村観光協会、高山村(2)、昭和村、みなかみ町観光協会
観光施設リニューアル	5	15,380	甘楽町、高山村、片品村、桐生市、邑楽町
観光客周遊化支援	2	800	中之条町、みなかみ町観光協会水上地区会藤原支部
計	27	39,560	

(4) ぐんまビジタートイレ認証

決算額 1,882千円

本県を訪れる観光客が使いやすいトイレを「ぐんまビジタートイレ」として認証し、きれいなトイレを確保することにより、県内観光地のイメージアップと集客を図った。

- ・新規認証11件（第18期）
- ・更新認証78件（第2期30件・第4期13件・第6期5件・第8期4件
第10期3件・第12期7件・第14期4件・第16期12件）

(5) 群馬デスティネーションキャンペーン 決算額 31,622千円

ググっとぐんま観光宣伝推進協議会に負担金を支出し、JRグループと地元自治体が一体となって行う「群馬デスティネーションキャンペーン」を実施したほか、令和3年度開催の「群馬アフターデスティネーションキャンペーン」に向け準備を行った。

区 分	事業内容
群馬デスティネーションキャンペーン	実施期間：令和2年4月1日～6月30日 実施内容：広報宣伝、誘客対策、受入体制整備 宿泊者数実績：492,820人泊（前年同期比-75.7%） ※新型コロナウイルス感染症の影響により、約70.9%の観光素材が「中止」「延期」となった。

(6) 愛郷ぐんまプロジェクト 決算額 1,341,777千円

新型コロナウイルス感染症の影響により、県内宿泊施設において多数のキャンセルが発生し、観光需要の落ち込みが見られることから、県民を対象に宿泊料金の割引を実施することで県内の観光需要を喚起し、併せてマイクロツーリズムの浸透を図った。

区 分	内 容
泊まって！応援キャンペーン	対 象：群馬県民 実施期間：令和2年6月5日宿泊分～7月31日宿泊分 割引金額：1人1泊6,000円（税抜）以上の宿泊の場合 1人あたり5,000円 対象宿泊施設：623施設 事業実績：327,534人泊

(7) 物産振興対策 決算額 2,077千円

県産品の普及と品質向上を図るため、(公財)群馬県観光物産国際協会と連携し、県内の百貨店を活用した観光物産展を開催し、県産品の認知度向上と販路拡大を図った。

また、県内の物産品についてメディアと連携してPRを行ったほか、本県を代表する「近代こけし」について展示販売を行うなど県内物産の振興を図った。

区 分	事業内容	事業費
県主催物産展開催	県産品の認知度を高めるため、群馬の物産を一堂に集めた物産展を開催 ・開催回数1回 スズラン高崎店	12千円
食と土産の魅力向上	県内の物産品（優良県産品）について、県内のメディアと連携したPRを実施	1,855
全群馬近代こけしコンクール	こけしの品質、意匠の改良及び技術の向上を図り、本県の「近代こけし」産業の振興発展に寄与するため、「第61回全群馬近代こけしコンクール」を開催	210

(8)群馬県観光物産国際協会に対する支援

決算額

57,708千円

① 観光振興・観光宣伝

ホームページやラジオ等を活用した観光情報の発信、本県の認知度向上や来訪意向の向上を目的とした「グラマラスぐんまSNSフォトコンテスト」のPR事業等を実施することにより、県内地域の観光振興に努めた。

② 物産振興

民間大型商業施設と連携した群馬県産品常設販売コーナー「ぐんまるしえ」の運営、メディアを通じた優良県産品のPRやぐんまカタログギフト販売等により、物産振興に努めた。

(9)大阪事務所運営

決算額

9,721千円

関西圏において、群馬のイメージアップや誘客促進のため、本県の魅力ある観光地や特産物などを効果的に宣伝したほか、企業誘致活動等を実施した。

区 分	件 数	内 容
観光展・物産展開催	23回(延べ277日)	イベント開催、観光案内
観光・物産案内状況	2,977人	来所、電話
企業誘致情報収集	53件	企業訪問、企業誘致関連活動

(10)群馬県域DMOの推進

決算額

12,116千円

様々な関係者と連携した観光地域づくりを進めるため、群馬県域DMOである(公財)群馬県観光物産国際協会により、以下の事業を実施した。

※DMOとは、地域の「稼ぐ力」を引き出すとともに地域への誇りと愛着を醸成する「観光地経営」の視点に立った観光地域づくりの舵取り役として、多様な関係者と協同しながら、明確なコンセプトに基づいた観光地域づくりを実現するための戦略を策定するとともに、戦略を着実に実施するための調整機能を備えた法人。

事 業 名	内 容
観 光 調 査 分 析	<ul style="list-style-type: none"> ・ビッグデータ調査 SNS投稿等によるオンラインの情報流通状況や位置情報等のビッグデータを、新型コロナウイルス感染症拡大前後で比較し、観光行動の変化を可視化するとともに、各スポットの増減状況について調査・分析を実施した。 ・観光客ニーズ調査 ビッグデータでは把握できない観光客の動向を把握するため、「コロナ後」の観光行動に関する意識調査として、Webアンケートを実施した。 ・マーケティング基礎調査 ビッグデータ調査や観光客ニーズ調査等を組み合わせながら、各市町村ごとの観光入込客や観光資源等の状況を分析した観光カルテを作成した。
中 核 人 材 育 成	地域に新しい観光のかたちを提案し、自らプロデュースできるクリエイティブな人材を育成するための「ぐんま観光リーダー塾」を開催した。

事業名	内 容
(中核人材育成)	<ul style="list-style-type: none"> ・レギュラーコース 開催日：令和2年12月20日、令和3年1月16日、1月31日、 2月13日、2月27日（全5回） 内 容：観光まちづくり 講 師：敷田 麻実氏（北陸先端科学技術大学院大学） 福田 一樹氏（（一社）みなかみ町体験旅行等） ・アドバンスコース レギュラーコース修了者を対象に、観光まちづくり戦略 の実践的な内容を学ぶ「アドバンスコース」を開催した。 開催日：令和2年12月20日、令和3年2月27日（全2回） 上記日程の他、随時個別メンタリングを実施 内 容：メンタリングを含めた思考と実践 講 師：敷田 麻実氏（北陸先端科学技術大学院大学）
地域連携事業	地域DMO等（（一社）上野村産業情報センター、（一社） みなかみ町体験旅行、（一社）みなかみ町観光協会、倉賀 野町地域づくり活動協議会）と連携して、観光プログラム づくりや人材育成などの各種事業を実施し、観光地域づく りの支援を行った。

(11) ぐんま総合情報センター運営 決算額 89,903千円

首都圏における本県の情報発信拠点として、パブリシティ活動や物産販売、飲食提供、観光・イベント情報の効果的な発信等により、群馬の魅力を総合的にPRした。

① パブリシティ活動・ツアー造成

在京テレビ局や新聞社、出版社等への取材協力や情報提供等を積極的に行い、本県の露出度アップを図った。また、旅行エージェントへの旬な観光情報の提供等により、本県へのツアー造成を促進した。

② 来場者数・売上額

アンテナショップでの物産販売・飲食提供のほか、都内等の百貨店で観光PRや物産販売を行う「出張ぐんまちゃん家」を行った。また、コロナ禍における新たな取組として、期間限定の通信販売を行った。

区 分		令和2年度	令和元年度	前年度比
パブリ シティ 活動	テレビ・ラジオ放送実績	165件	135件	122%
	新聞・雑誌等掲載実績	139	132	105
	広告料換算額	18億6千万円	17億4千万円	107
ツアー造成件数		30件	117件	26
来場者数		15万3千人	33万3千人	46
売上額		8,934万円	1億3,724万円	65

5 イベント産業振興費

(1) イベント産業振興

決算額 262,532千円

① Gメッセ群馬の運営

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、令和2年4月18日の開所予定日を6月1日に延期した。開所当日は、知事、県議会議長、高崎市長、地元区長等一部の関係者によるセレモニーを行った。

開館後も新型コロナウイルス感染症対策として、サーモグラフィによる検温、館内の消毒、換気運転の強化、会場のスケールアップ、警戒度4の期間のキャンセル料返還等への対応を実施した。

ア 令和2年度 利用実績

- ・件数：557件（令和2年6月1日～令和3年3月31日）
- ・日数：256日（令和2年6月1日～令和3年3月31日）
（うち展示ホール43日、メインホール125日）
- ・日数稼働率：施設全体88.5%、展示ホール16.2%、メインホール44.6%
- ・催事別内訳

催事	学会・大会	講演会・セミナー	会議	展示会	試験・就職説明会	式典	その他イベント	コンサート・ライブ	その他興業	計
件数	21	84	286	24	78	6	55	-	3	557

イ 令和2年度 新型コロナウイルス感染症の影響によるキャンセル

- ・件数：168件

ウ 令和2年度 収支実績

- ・収入：256,081千円、支出：329,352千円、収支：▲73,271千円*

※利用料金制により指定管理者の負担

② M I C E の推進

Gメッセ群馬を核として、これまで県内で開催できなかった大規模なM I C Eの誘致活動を行うとともに、全県的なM I C E誘致に向け、県コンベンションビューローによる誘致活動及び開催支援を行った。

また、M I C Eの機運醸成を図るため、ビューロー構成団体に対してGメッセ群馬の説明会等を実施した。

※M I C Eとは、企業等の会議（Meeting）、企業等の行う報奨・研修旅行（Incentive Travel）、国際機関・団体、学会等が行う会議（Convention）、展示会・見本市、イベント（Exhibition/Event）の頭文字を使った造語で、これらのビジネスイベントの総称。

区 分	事 業 内 容
Gメッセ群馬説明会	期 日：令和2年7月29日 参加者：89人

③ イベント産業の振興

多くのイベントが中止・延期となる中、コロナ禍におけるイベント開催手法に関するセミナーやイベント産業関連事業者間の連携を強化するミーティングを行った。

また、イベント開催機運の醸成を目的に、県主催のイベント等を県庁前で開催した。

区 分	事 業 内 容
コンベンション事業者支援セミナー	期 日：令和2年9月11日 参加者：93人

区 分	事 業 内 容
機 運 醸 成 イ ベ ン ト (県 庁 前 sunset キ ッ チ ン ベ ー ス)	実 施 回 数 : 5 回 参 加 者 数 : 555 人 出 店 事 業 者 数 : 延 べ 15 者

(2) Gメッセ群馬維持整備 決算額 367,979千円

整備を進めていた緑道が7月に完成し、周辺住民が利用を出来るようになった。

また、埋蔵文化財発掘調査の出土品の整理業務を進め、整理業務が完了した。併せて、施設の運営開始に伴い発生した不具合箇所について、施設利用者の利便性向上等のため改修工事を実施した。

・ Gメッセ群馬施設概要

区 分	会 議 ・ 展 示 施 設	立 体 駐 車 場
構 造 ・ 規 模	鉄骨造・地上4階建て	鉄骨造・5層6段
延 べ 床 面 積	32,724.52m ²	34,593.69m ²
最 高 高 さ	28.40m	17.10m

6 eスポーツ・新コンテンツ創出費

(1) eスポーツ推進 決算額 43,745千円

① 大会イベント開催

全国規模の大会や多様な地域大会、イベントの開催を通して、地域ブランド向上とともに、魅力発信や賑わい創出など、地方創生の実現に向けた取組を実施した。

区 分	事 業 内 容
第1回 U19 eスポーツ選手権の開催	eスポーツを通し、本県が国内外に認知されることをめざし、全国初となる19歳以下を対象にした大会を開催した。 (予選) 開催日：令和2年11月7～8日 場 所：オンライン上 参加チーム：61チーム 動画視聴回数：4,851回（令和3年5月31日現在） (決勝) 開催日：令和2年11月22日 場 所：Gメッセ群馬 展示ホール 動画視聴回数：11,900回（令和3年5月31日現在）
街なかeスポーツイベント実証事業	eスポーツを活用した賑わい創出の可能性を検証するため、商店街を会場に実証事業を行った。 開催日：令和2年8月5日 場 所：comm、(一社)群馬県eスポーツ連合事務所
富岡製糸場eスポーツイベント実証事業	eスポーツを活用した観光資源の魅力発信の可能性を検証するため、世界遺産富岡製糸場を会場にしたeスポーツイベントを開催した。 開催日：令和3年3月13日 場 所：富岡製糸場西置繭所 参加チーム：4チーム 動画視聴回数：365回（令和3年5月31日現在）

② eスポーツ推進の土壌づくり

eスポーツの特徴を活用した地方創生（まち・ひと・しごと）に関する理解促進・機運醸成のためのセミナーやイベントを開催するとともに、幅広い層によるeスポーツの活用を促進する取組を実施した。

区 分	事 業 内 容
eスポーツによる地方創生推進セミナー	eスポーツを活用した地方創生やビジネス参入を図る上で必要な知識・ノウハウを学べるオンラインセミナーを開催した。 開催日：令和2年8月26日 場 所：動画・放送スタジオ「tsulunus」 講 師：笈 誠一郎氏 (eスポーツコミュニケーションズ株式会社 取締役会長) 影澤 潤一氏 (株式会社NITE-Sports 代表取締役副社長) 生配信視聴者数：130名 動画視聴回数：566回（令和3年5月31日現在）
eスポーツ推進に関するカンファレンス	eスポーツの持つ「ひとづくり」に着目し、地域におけるeスポーツ推進について、有識者によるカンファレンスを開催した。 開 催 日：令和2年11月17日 場 所：動画・放送スタジオ「tsulunus」 動画視聴回数：921回（令和3年5月31日現在）
オンラインeスポーツイベント「Powerful e-days」	eスポーツ推進の動きを加速させ、地域経済の活性化など将来の発展につなげるため、セミナーやトークセッションなどをオンライン配信した。 開催日：令和3年3月16日配信開始 内 容：eスポーツ界で活躍する著名人やトップランナー、県内企業等によるセミナー、トークセッション、eスポーツ大会などをオンライン配信 動画数：7本 インタビュー記事：8本 動画視聴回数合計：1,855回（令和3年5月31日現在）
「シニア×eスポーツ」キックオフ	シニア層を対象にしたeスポーツ推進を検討するため、シニアによるeスポーツ体験と心身影響調査の実証事業を実施した。 開催日：令和3年1月29日 場 所：ベイシア文化ホール 参加者：10名
社会人eスポーツキックオフイベント	eスポーツ競技人口やファンの増加を図るとともに、eスポーツを活用した異業種交流を促進するため社会人を対象にeスポーツイベントを開催した。 開 催 日：令和3年2月17日 場 所：NETSUGEN 参加チーム：4チーム 動画視聴回数：361回（令和3年5月31日現在）

③ 人材育成就労支援

eスポーツ周辺産業やサイバーセキュリティに係る研修を実施し、就職氷河期世代を対象にした就労支援を行った。

区 分	事 業 内 容
eスポーツの仕事に就こう！！就職氷河期世代向けプログラム	就労に活かすことを目的に、eスポーツと周辺産業に係るオンラインセミナーと実務講習を全3日間実施した。 開催日：令和2年11月20日、12月5日、12月6日 場 所：オンライン、Gメッセ群馬 講 師：谷田 優也氏(ウェルプレイド株式会社 代表取締役/CEO) 株式会社グループシンク 専門スタッフ 参加者：30名(就職氷河期世代)
就職氷河期世代向けサイバーセキュリティ研修	eスポーツを通じて培った知識やスキルをサイバーセキュリティ分野につなげて就労に活かせるよう、全3日間の研修を実施した。 開催日：令和3年2月20日、2月28日、3月14日 場 所：オンライン、群馬産業技術センター 講 師：みいみ氏(プロeスポーツプレイヤー) 株式会社デジタルハーツ 専門スタッフ 参加者：20名(就職氷河期世代)

(2)新コンテンツ創出

決算額

578千円

① クリエイティブ拠点化基礎調査

本県のクリエイティブ拠点化に向け、県内の現状把握、全国の先進的取組に関する調査を実施した。

区 分	事 業 内 容
県内クリエイターヒアリング調査	・実施期間：令和2年6月8日～19日 ・調査方法：対面によるヒアリング調査 ・調査対象：県内クリエイター9名
全国先進地ヒアリング調査	・実施期間：令和2年7月8日～9月30日 ・調査方法：オンラインによるヒアリング調査 ・調査対象：横浜市、川崎市、京都市
県内クリエイティブ人材養成専門学校等調査	・実施時期：令和2年12月16日～22日 ・調査方法：訪問調査 ・調査対象：県内クリエイター養成専門学校4校
県内クリエイター状況調査	県内クリエイター業界を横断的に調査し、業界における現状や課題を把握。 ・実施時期：令和3年2月9日～26日 ・調査方法：委託調査 ・委託会社：WORKARTS合同会社 ・調査対象：県内クリエイター業界

② 群馬の魅力再発見

本県の魅力を県内外にわかりやすく発信するための動画を配信するとともに、電子ブック版を作成した。

区 分	事業内容
クイズ番組制作・配信	小学生向けに「ぐんまのすごいモノ」をクイズ形式で紹介する番組「ぐんまがいちばん！」を制作し配信した。 ・製作本数：14本
電子ブック作成・公開	クイズ番組「ぐんまがいちばん！」の電子ブック版を作成し、ホームページで一般公開

③ 本県出身のクリエイターによるトークショー

ライトノベル「ソードアート・オンライン」作者の川原礫氏と、アニメ「アイドルマスター」シリーズを手がけたアニメーションプロデューサー福島祐一氏（ともに本県出身）によるトークショーを開催した。

区 分	事業内容
湯けむりフォーラム「今を生き抜くヒント ～夢をかなえるために～」	・配信日時：令和2年12月18日 22時30分～24時00分 ・視聴方法：動画・放送スタジオ「tsulunos」から動画配信 ・出演者：川原 礫氏（ライトノベル作家） 福島 祐一氏（アニメーションプロデューサー） ・再生回数：1,450回（令和3年5月31日現在）

(3) ロケ誘致推進

決算額

2,223千円

① ロケ誘致の基盤強化

ぐんまフィルムコミッションを総合窓口として、県内のフィルムコミッション・市町村との連携体制を強化し、映画・ドラマ等の撮影支援を行った。

区 分	事業内容
映画・ドラマの支援等	・相談件数：208件 ・支援件数：34件

② ITで制作会社を支援

ぐんまフィルムコミッションの専用サイト・Twitter・Facebookを開設した。

区 分	事業内容	事業費
ぐんまフィルムコミッション専用サイトの制作	県内のロケ地や、ロケ弁・宿泊施設等ロケに必要なサービスの提供事業者を検索できるサイトを制作した。	1,672千円

③ 情報発信

ぐんまフィルムコミッションの専用サイト・SNSのほか、動画の制作・配信、パネル掲示などにより、撮影を支援した作品のロケ地をPRした。

区 分	事業内容
動画の制作・配信	制作会社向けロケ地紹介動画 10本 県民向けフィルムコミッション活動・ロケ地紹介動画 3本
パネル掲示	第77回ベネチア国際映画祭銀獅子賞受賞「スパイの妻<劇場版>」県内ロケ地PR ロケ地：群馬県昭和庁舎、四万温泉 期 間：令和2年10月14日～12月28日 場 所：県内上映館ほか